

2020(令和2)年は、催し物・行事の中止や外出自粛による経済の低迷など、新型コロナウイルスの影響一色の一年となりました。

そこで、新年が良い年となるように願いを込め、2021(令和3)年の抱負や期待することについて、丑年に設立された組合に伺いました。

①

組合紹介(PR含む)

②

令和3年の抱負や期待すること

## 秋田県菓子工業組合

〈設立60年〉



[塚本理事長]

①秋田県菓子工業組合(塚本高理事長)は1961(昭和36)年9月に設立しました。以来、県内の菓子製造業者の業界団体として、食品表示法やHACCP等に関する研修会の実施などに取り組んできました。組合員は現在94社で、そのほぼ全てが自店のみを経営し、製造から小売までを手掛ける小規模事業者です。古くは、組合の賦課金として、砂糖の取扱量に応じた差等割ならぬ「砂糖割」がありました。

本組合には地区ごとに支部があり、支部の活動が各地で活発に行われています。

菓子業界は、新型コロナウイルスの影響により、一部に巣ごもり消費の恩恵がみられましたが、全体的には大変苦戦している状況です。

そのような中、今年6月からは全ての食品事業者に対してHACCPに基づく衛生管理が義務化されることになっており、教育情報事業に力を入れています。

②今年は何よりもまず、新型コロナウイルスの終息を期待します。終息したあかつきには、お菓子に関するイベントを開催したいと思っています。

先日、隣県の岩手県菓子工業組合の講習会にZOOMで参加しましたが、コロナ禍を機にICTの活用が進み、物理的距離に関係なく、講習を受けることができるようになったので、本組合においても取り組もうと考えています。

また、6月のHACCP義務化に向け、組合員への情報提供等に、迅速に対応して参ります。

## 協同組合横手卸センター

〈設立48年〉



[和泉理事長]

①協同組合横手卸センター(和泉正之理事長)は、1973(昭和48)年3月に卸売業者等24社で設立しました。現在は、組合員等の異業種44社で構成されており、秋田県南の流通拠点として地域の安定と繁栄に貢献しています。

また、刻々と変化する社会情勢に対応すべく、様々な情報提供や共同事業を行い、強い結束力を維持しております。

具体的な事業としては、教育研修・福利厚生・環境美化・感染症対策・広報編集・金融・購買・損害保険・除雪委託・燃料委託など多岐に及んでおり、組合員等に最大限の組合メリットを提供しております。

また、組合員等事業所に勤務されている方への福利厚生の充実を図るため、2018(平成30)年4月には県内組合では初となる「企業主導型保育園」を組合の敷地内に開園し、働きやすい環境作りを進めています。この保育園は、定員の半数まで近隣住民の方も利用できるようになっており、社会貢献の一環としてもその存在価値を高めています。今後も安定した運営と健全な保育を目指して参ります。



[ハロウィーンの仮装を行う園児たち]

②今まさに卸売業の概念が変化しつつある中、2023(令和5)年に迎える設立50周年に向けて、今後も「相互扶助の精神」に基づき、ディフェンス(守り)とチャレンジ(挑戦)をバランス良く調和し、時代の流れに乗り遅れないよう努力していきます。

## 秋田県葬祭業協同組合

〈設立48年〉



〔半田理事長〕

①秋田県葬祭業協同組合(半田雅之理事長)は1973(昭和48)年に設立しました。1994(平成6)年に一般公募により、「トワニー秋田」の名称とシンボルマークを制定し、2014(平成26)年には、県と本組合及び全日本葬祭業協同組合連合会の3者間で「災害時における棺及び葬祭用品の供給等の協力に関する協定」を締結しました。この災害協定の締結を契機に、2017(平成29)年から県の総合防災訓練に参加しています。

2020(令和2)年は新型コロナウイルスの影響により、家族葬が大幅に増え、5年先には来るであろうと予想していたことが前倒しとなりました。それに加え、感染防止の観点から葬儀後の会食を行わないことが常態化したため、葬儀件数の増加に反比例して葬儀業者の売上は減少しています。

価格競争では経営が成り立たなくなるので、付加価値をつけたグレードの高いサービスを実施し、顧客満足度を上げるとともに、利益も確保していきたいと思っています。



〔防災訓練の様子〕

②本来であれば、今年は本県で全葬連の全国大会が開催される予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で来年に延期となったので、それに向けた準備を行う年にしたいと考えています。講演には、葬儀の専門学校を卒業し、当業界に携わったことがある本県出身の壇蜜さんを招く予定で計画しています。

また、若い人たちを中心に葬儀を軽視する傾向が見られるので、日本の伝統的な儀礼文化を残していきたいです。昨年は、家族葬が一気に広まりましたが、家族葬だからといって親しい人たちが弔問できない状況をつくるのはいかなものかと思うので、元に戻していきたいと思っています。

## 秋田市通町商店街振興組合

〈設立36年〉



〔佐藤理事長〕

①秋田市通町商店街振興組合(佐藤政則理事長)は1985(昭和60)年に設立しました。設立当初は歩道がなく狭い通りでしたが、1998(平成10)年に高度化事業による街区整備が完了し、現在の街並みとなりました。

この際に整備された広い歩道や車道を活用して、様々なイベント等の取組を行っており、イベントの企画内容については、月に1～2回、10名程度が集まって開催される販促会議で話し合っています。

近年は、街区が隣接する秋田市大町商店街振興組合と連携し、新春夢綱引きなどの取組を実施しています。

本組合には若手が多くおり、イベントの実行部隊として、スピーディーな情報処理につながっていることが強みです。

この強みを活かして、イベントを開催するだけでなく、来てくれたお客さんにお店に入ってもらい、リピーターとなってもらおうことを目指しています。そのためにも、お客さんがワクワク、ドキドキするような仕掛けを行い、お客さんが足を運びたくなる商店街にしていきたいです。

新型コロナウイルスの感染防止対策については、各店で飛沫防止シートの設置等の対策を講じていますので、安全・安心な通町商店街にぜひ、お越し下さい。



〔イベントの様子〕

②新型コロナウイルスの一刻も早い終息を願うとともに、当面は、感染対策等に細心の注意を払って活動していきたいと考えています。本組合は、「楽しい通町商店街」を目指しており、冬にはあったか企画、4月1日にはエイプリルフール企画、4～10月の毎月第4土曜日には通の市などの各種イベントを感染状況を考慮しながらできる限り開催し、コロナ禍で元気がなくなっている地域の盛り上げにつなげていきたいと思っています。

